

学校教育目標 「思いやりのある子」「進んで学ぶ子」「元気でたくましい子」



大桑っ子だよ



加須市立大桑小学校だよ 令和8年2月2日 2月号(1月24日作成)



心と体の「健康の根っこ」を育てるために

大寒を過ぎ、一年で最も寒さが身に染みる季節となりました。本日一月二十二日は、暦の上では冬の真っ只中ですが、校庭の隅には春を待つ小さな芽が顔を出し始めています。あと十日もすれば節分。季節の分かれ目を前に、子供たちは一年の学習のまとめに、そして寒さに負けない体力作りにも励んでおります。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動、そしてお子様の健康管理に多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

「心」と「体」はつながっている

今月のテーマは「健康」です。最近の健康教育では、心と体の相関関係が非常に重視されています。体が健やかであれば、何事にも前向きに挑戦する意欲が湧き、逆に心が安定していると、体の抵抗力も高まります。この「心身の健康」を根底で支えているものの一つが、実は「食」であり、その入り口となる「歯」の健康です。しっかり噛んで味わうことは、脳を刺激して心を安定させ、豊かな情緒を育むことにもつながっています。

偉人の業績を支えた「丈夫な歯」

歴史を振り返ると、偉大な業績を残した人々は、驚くほど「歯」を大切にしています。例えば、明治の啓蒙思想家・福沢諭吉です。彼は当時としては非常に珍しいほど口腔ケアに無頓着ではなく、自身の健康管理において「歯」を極めて大切にしていました。「学問のすゝめ」を説いた彼が、晩年まで明晰な頭脳を保ち、情熱的に教育活動を続けられた背景には、自らの歯で食事を楽しみ、脳を活性化させ続けていたことがあったと言われています。また、江戸時代に日本地図を作り上げた伊能忠敬も有名です。彼は五十歳を過ぎてから測量の旅に出ましたが、歩き続ける体力と強靭な意志を支えたのは、丈夫な歯であったと伝えられています。「自分の歯でしっかり噛めること」が、前人未到の挑戦を支えるエネルギーの源だったのです。

「学力」と「歯」の意外な関係

現代の研究においても、歯の健康と学力には密接な関係があることが示されています。歯が健康でよく噛める児童は、そうでない児童に比べて、脳の記憶を司る領域が活性化しやすく、学習への集中力が高いというデータがあります。逆に、むし歯の痛みや違和感を抱えた状態では、授業に集中しようとしても、知らず知らずのうちにエネルギーが削がれてしまいます。

本校の現状

こうした「歯の重要性」を鑑みたとき、本校の現状には大きな危機感を感じざるを得ません。秋の歯科健診の結果、治療勧告が出たにもかかわらず、現在**50名もの児童が未治療のまま**となっています。さらに心配なのは、そのうち12名は、春の健診でも指摘があったにもかかわらず、一年近く放置されているという事実です。「むし歯は、放っておいても治りません」。医療が進歩し、人生100年時代を迎える中、歯を失うことは将来的な栄養摂取を困難にし、全身の健康を著しく損なうリスクとなります。

未来の自分への贈り物

「忙しいから、春休みになってから」と思われるかもしれませんが、しかし、むし歯は刻一刻と進行し、大切なお子さんの心身を蝕みます。節分で追い払うべき「鬼」は、もしかすると私たちの心の中にある「後回しにする心」かもしれません。お子さんが将来、自分の歯で美味しいものを食べ、元気に笑い、夢に向かって邁進できるよう、今この時期に適切な治療を受けさせてあげてください。

ご家庭でのご理解とご協力を、切にお願い申し上げます。

2月の主な行事予定

1	日	
2	月	
3	火	委員会活動 講話・表彰集会
4	水	加須市チャレンジテスト（3～6年） 教育相談日（希望者）
5	木	ロング昼休み 教育相談日（希望者）
6	金	入学説明会
7	土	加須市少年の主張大会
8	日	
9	月	
10	火	第2回学校保健委員会（3・4年生） 3～6年生6時間授業
11	水	建国記念の日
12	木	キッズタイム
13	金	学習参観・学級懇談会 PTA総会（書面）
14	土	
15	日	
16	月	教材費引き落とし日
17	火	児童集会 CBT体験（4～6年生） クラブ活動
18	水	世界へのトビラ（3・4年生） 5時間授業13：55下校
19	木	
20	金	スクールカウンセラー来校日
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	講話集会 委員会活動
25	水	保幼小交流会
26	木	ロング昼休み 薬物乱用防止教室（6年）
27	金	6年生を送る会
28	土	

教育活動の様子



12月16日（火）書きぞめ競書会

どの学年の児童も集中して取り組み、文字の形を整えて書くことができました。

学校運営協議会について



加須市では、令和7年度より、市立全小・中学校が「コミュニティ・スクール」となりました。「コミュニティ・スクール」とは、学校運営協議会を設置している学校のことです。

学校運営協議会は、保護者の代表、地域の代表、教職員や学校に関わる様々な立場の方が委員となっています。学校運営や教育活動の支援に関することについて学校と地域と一緒に考え、地域とともにある学校づくりを目指しています。

本校では、今年度は年3回、学校運営協議会を開催予定です。「学校と保護者・地域との連携を深めていくには、どうしたらよいか」を柱に、熟議をしています。